

BEC ワールド(BEC)

デジタル・プラットフォームで AVDO および SVDO のユーザー数が堅調に推移。広告収入中心モデルから脱却へタイ | 地方テレビ・ラジオ放送 | 業績フォロー

BLOOMBERG : BEC.TB | REUTERS: BECn.BK

- 2025/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比7.1%減、純利益が同70.8%減。著作権・その他サービス収入が堅調のも、広告収入が不振。
- 2024年4Qの構造改革に関する特別損失計上後、著作権・サービス収入の三本柱を軸とした経営立て直しに取り組んでいる。
- デジタル・プラットフォームでAVDOおよびSVDOのユーザー数が堅調に推移。広告収入中心の事業モデルからの脱却に向けて進捗している。

What is the news?

8/14発表の2025/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比7.1%減の10.31億THB、純利益が同70.8%減の20.9百万THB。同社が成長戦略として注力する著作権・その他サービス収入が大幅に拡大した一方、主力の広告収入減が響き減収。利益面では、売上高販売管理費率が同1.9ポイント低下の13.7%へ改善したものの、粗利益率がイベント&アーティストマネジメント収入に関連したコスト増が響き同7.0ポイント低下の17.0%へ悪化。前四半期比では、売上高が3.8%増、純利益が51.6%減となった。

2Qの部門別売上高は以下の通り。①主力の広告収入が前年同期比20.4%減の7.36億THB。国内外の経済減速の影響を受けて広告主であるクライアント企業が支出に慎重になったことが響いた。②著作権・その他サービス収入が同57.4%増の2.88億THB。その内、グローバル・コンテンツ・ライセンス事業収入とドラマのライセンス事業収入の伸びに加え、イベント&アーティストマネジメント収入が成長を牽引した。

How do we view this?

同社は2024年10-12月期に構造改革の一環として、俳優や脚本家への前払い費用に関する減損損失、子会社売却損失、長期間疑わしい営業債権に関する金融会計上の損失など特別損失を計上した。2025年1Q以降、「グローバル・コンテンツ・ライセンス」、「デジタル・プラットフォーム」、「イベント&アーティストマネジメント」を三本柱とする著作権・その他サービス収入に焦点を絞った経営再建(ターン・アラウンド)に注力している。

グローバル・コンテンツ・ライセンスでは、「サイマル放送」(1つの放送局が同じ時間帯に同じ番組を、異なるチャンネル、放送方式、放送媒体で放送すること)の拡大を中心に「シングルコンテンツ・マルチ・プラットフォーム」化戦略を推進している。

デジタル・プラットフォームでは、その2Qにおけるユーザー数がAVDO(広告掲載型ビデオ・オン・デマンド)で対1Q比3%増、SVOD(定額課金型ビデオ・オン・デマンド)で同7%増と堅調に推移している。

タイ政府は、経済の高付加価値化、国の競争力強化を目指す一環で、国が持つ文化や価値観で他国を魅了することで理解、共感などを得る力である「ソフトパワー」支援策を実施しており、中期的なタイの競争力向上戦略として、ゲームや映画などの産業育成に強化する方針である。

業績推移

※参考レート 1THB=4.58円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高(百万THB)	5,114	4,652	4,251	3,981	3,729
当期利益(百万THB)	607	210	96	257	167
EPS(THB)	0.30	0.11	0.05	0.10	0.10
PER(倍)	31.33	42.16	75.84	21.20	21.20
BPS(THB)	3.12	3.07	3.04	3.09	3.12
PBR(倍)	3.01	1.51	1.25	0.69	0.68
配当(THB)	0.00	0.00	0.06	0.09	0.09
配当利回り(%)	0.00	0.00	32.89	4.25	4.01

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

配当予想(THB) 0.09 (予想はBloomberg)
 終値(THB) 2.12 2025/9/2

会社概要

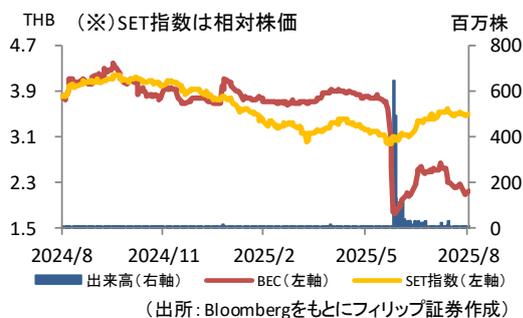
1967年設立のタイのメディアグループ。アナログ1局とデジタル3局の合計4つのテレビ放送チャンネルを有する「チャンネル3」を経営の柱として運営するほか、ラジオ放送「EasyFM」も運営する。アナログ放送はタイの政府系メディア企業であるMCOTから放映権を得ている。

現在は、地上波テレビとオンラインプラットフォームの両方で、様々なプラットフォームでコンテンツ提供ビジネスを運営する。コンテンツ提供ビジネスには、グローバルコンテンツライセンスビジネス、エンターテインメント、ドキュメンタリープログラムの調達・提供などが含まれる。

同社は近年、1つの放送局が同じ時間帯に同じ番組を異なる複数のチャンネル、放送方式、放送媒体を通じて放送する「サイマル放送」の拡大・普及に注力。同社の「チャンネル3」の人気ドラマの中国への配信、および中国で放映されるサイマル放送のドラマをチャンネル3で閲覧できる。

企業データ(2025/9/3)

ベータ値	1.26
時価総額(百万THB)	4,280
企業価値=EV(百万THB)	3,605
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	74.3



主要株主(2025/9)

株主	(%)
1.Jurangkool Thaveechat	14.24
2.Hatairai Jurangkool	12.01
3.Maleenont Ratana	10.12

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>